

全国新人大会への関西女子学連からの推薦方法

強化部長坂井提示案

1. 全関西の順位をもって上位から推薦していく
2. 全関西と西日本の順位を合算して上位から推薦していく
3. 全関西の上位4チーム（もしくは8チーム）にて当該学年での予選を行う（2日間もしくは3日間）
4. 全関西と西日本の順位を合算して上位4チーム（もしくは8チーム）にて当該学年での予選を行う（2日間もしくは3日間）

↓
3案と4案が3票ずつ（詳細は下表参照）

↓
強化部としては、上記3案もしくは4案の意見が多いため、可能であれば当該学年での予選を実施する方法を検討し、不可能であれば2案や1案の推薦方式を採用する方向で継続検討したい

↓
全関西の学生総会時に「全関西の結果を、全国新人大会に推薦するチームの選考基準に加える」「具体的な選考方法については現在協議中」の2点を伝達しておく

↓
日学への名簿提出/東京への大会参加計画作成を考慮すると6月19日日曜日の決定がリミットだと考えられるため予選を実施するとしたら4チームで6月18－19日の2日間が現実的

強化部理事からの追加提案	考慮順	意見
なし	3124	③可能であれば、全関西の上位8チームの予選会を実施。日程的に難しいようであれば4チームでも良いと考えます。 ①コロナ禍を含め、試合を開催できないとなれば、全関西の上位2チームを推薦するのが公平と考えます。 ②合算して推薦となっても、2チームをどのような基準で決定するかについて、主観的な判断となることが予想され、難しいと感じています。 ④現実として難しいのではないのでしょうか。西日本を終えてからの予選は今年度はコロナ禍を含め日程的に厳しい。また、関西の推薦ですので、全関西、あるいはリーグ単位で考える方が妥当かと…今後、この大会が継続して行われるということであれば、次年度から新人予選をできる日程案を計画していけば良いと考えます。
なし	1234	なし
なし	4312	6月3週目・4週目（6/18・6/19・6/25・6/26）については、例年通り県学生が開催されるのであれば、活用可能です。上記の日程確保を前提に、私もできれば、当該学年での予選会の実施ができればと思っていることと、コロナでどちらかの大会に不参加になる可能性を踏まえて
なし	3412	・新人戦ということで、当該学年での予選会が望ましいと考えております。 ・それに加えてコロナ禍で大会を複数にするよりは1大会からの出場候補チームを選出の方が良いのでは？と感じております。
なし	4321	○試合日数が設けられるのであれば該当学年での試合で決定したい。 ○当大学では新入生の練習参加が現在認められていません。入学後になる可能性が高い(各大学によって違うと思いますが)のですが全関西だけの結果よりも西日本の結果も合算しての4位～8位のチームでの予選開催の方がいいのかなと。【自チーム目線からの意見になりますが】
なし	3124	・コロナ禍で様々なアクシデントが起こる可能性がある為、できるだけシンプルな推薦方法が良い ・他ブロックとの対戦で順位に影響がでる西日本は、関西の代表を決めるのに不適当 ただ、日程など可能性があるのであれば、当該学年での予選をすることが最も予選会としてふさわしいと考え、3.を最上位にあげています。
全関西の上位4チーム、西日本の上位4位チームそれぞれ（最少で4チーム、最大で8チーム）の当該学年での予選を行う →日程的に可能ならば、それぞれのベスト8（最少で8チーム、最大で16チーム）の当該学年での予選でも良い	4231	提案した理由は依然としてコロナの影響を軽視できない中で、関西の代表として、全国新人に出る力を持ったチームが、どちらかの大会を不参加、もしくは、主力選手の欠場によって、実力を発揮出来なかった状況を想定すると、合算というルールが与える影響が大きいと考えるため（どちらかの大会が開催不可となった場合には、開催出来た大会のみでの本ルール適用）